



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月28日

上場会社名 さくらインターネット株式会社 上場取引所 東
コード番号 3778 URL <https://www.sakura.ad.jp>

代表者（役職名） 代表取締役社長兼最高（氏名） 田中 邦裕
経営責任者
問合せ先責任者（役職名） 取締役最高財務責任者（氏名） 川田 正貴 TEL 06-6476-8790
半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	13,271	28.3	1,295	419.4	1,102	538.2	710	305.4
2024年3月期中間期	10,343	3.5	249	△42.8	172	△54.3	175	△29.1

（注）包括利益 2025年3月期中間期 636百万円（89.1%） 2024年3月期中間期 336百万円（30.7%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	18.64	—
2024年3月期中間期	4.91	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	62,257	27,961	44.6
2024年3月期	30,224	9,321	30.2

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 27,777百万円 2024年3月期 9,135百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	3.50	3.50
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	4.00	4.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	32.9	2,600	193.9	2,450	220.6	1,550	137.8	39.71

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1社(社名) 株式会社Tellus 、除外 1社(社名)

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項(重要な連結範囲の変更)」をご覧ください。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	41,890,700株	2024年3月期	37,620,700株
2025年3月期中間期	1,890,958株	2024年3月期	1,911,842株
2025年3月期中間期	38,098,328株	2024年3月期中間期	35,684,328株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

(注) 当社は、「株式給付信託(J-ESOP)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている今後の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、2024年10月30日(水)に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(音声)につきましては、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	7
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な連結範囲の変更)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気の緩やかな回復が続くことが期待されますが、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある状況となっております。

当社グループの属するクラウド・インターネットインフラ市場は、デジタルトランスフォーメーションが進むなか、すべての企業で第3のプラットフォーム(クラウド、モビリティ、ビッグデータ、ソーシャル技術)の利用が加速し、企業ITインフラのクラウドへの移行の本格化が予想されており、当社グループの属する市場は、国産パブリッククラウドへの期待も高まっているなかで、今後も拡大が継続すると見込んでおります。

こうした状況のもと、当社グループはシステムインテグレーションから開発、インターネットインフラサービスの提供、保守、運用、お客様サポート等をグループ内においてワンストップで提供することで、お客様の「やりたいこと」の実現を支援することを目指しております。現在の48万を超える顧客と新たな顧客にとってのカスタマーサクセスの実現に注力することで、今後も高い市場成長が見込まれるクラウドサービスの拡大に注力しております。

売上高につきましては、2024年1月からサービス提供を開始したGPUクラウドサービス売上の計上およびクラウドサービス売上の順調な成長等により、13,271,670千円(前年同期比28.3%増)となりました。

営業利益につきましては、クラウドサービスの機能開発強化の一層の加速や販売促進に向けた人材採用・マーケティング強化等の投資の積極的な実施等による費用の増加がありました。売上高の増加により、1,295,887千円(前年同期比419.4%増)となりました。

経常利益につきましては、公募による新株発行に伴う株式交付費を計上いたしましたが、営業利益の増加により、1,102,108千円(前年同期比538.2%増)となりました。

親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、経常利益の増加により、710,071千円(前年同期比305.4%増)となりました。

サービスカテゴリー別の売上状況は以下のとおりです。なお、第1四半期連結会計期間より、2024年1月からサービス提供を開始したGPUクラウドサービスを新しくサービスカテゴリーとして追加しております。

① クラウドサービス

さくらのクラウド、さくらのVPSの売上が順調に推移したこと等から、クラウドサービスの売上高は6,813,126千円(前年同期比9.0%増)となりました。

② 物理基盤サービス

専用サーバサービスの利用増加等により、物理基盤サービスの売上高は1,867,873千円(前年同期比4.5%増)となりました。

③ GPUクラウドサービス

GPUクラウドサービスは「高火力PHY」を2024年1月から一部サービス提供を開始し、2024年6月から本格提供を開始しており、GPUクラウドサービスの売上高は2,018,498千円となりました。

④ その他サービス

グループ会社売上の増加等により、その他サービスの売上高は2,572,171千円(前年同期比11.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における資産・負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

① 資産

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ32,032,637千円増加し、62,257,085千円(前連結会計年度末比106.0%増)となりました。主な要因は、公募増資による新株発行に伴う現金及び預金の増加、GPUクラウドサービス等向けのサービス機材調達による有形固定資産の増加等によるものです。

② 負債

当中間連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末に比べ13,392,389千円増加し、34,295,627千円(前連結会計年度末比64.1%増)となりました。主な要因は、サービス機材に係る借入金の増加等によるものです。

③ 純資産

当中間連結会計期間末の純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ18,640,248千円増加し、27,961,457千円(前連結会計年度末比200.0%増)となりました。主な要因は、公募増資による新株発行に伴う資本金、資本剰余金の増加等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、旺盛なAI開発需要を背景にGPUクラウドサービスにかかるGPU基盤の早期整備に向けて追加投資を行うなかで、高い成長の達成に向けて人材採用や営業・マーケティングの強化を図っており、引き続きGPUクラウドサービスの今期業績への影響等を精査中のため、現時点では、2024年9月20日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した連結業績予想を据え置くことといたしました。

なお、今後の業績動向に応じて、業績予想に修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,257,805	29,648,927
受取手形、売掛金及び契約資産	3,241,165	2,892,986
商品及び製品	16,747	2,886,899
仕掛品	—	10,479
貯蔵品	508,314	432,392
その他	1,564,390	2,659,475
貸倒引当金	△14,223	△15,263
流動資産合計	10,574,200	38,515,896
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,369,459	6,517,002
工具、器具及び備品(純額)	2,764,895	6,264,253
リース資産(純額)	6,841,909	6,927,598
その他(純額)	680,429	694,938
有形固定資産合計	16,656,693	20,403,792
無形固定資産		
その他	505,262	688,015
無形固定資産合計	505,262	688,015
投資その他の資産		
その他	2,493,775	2,654,743
貸倒引当金	△5,484	△5,364
投資その他の資産合計	2,488,291	2,649,379
固定資産合計	19,650,247	23,741,188
資産合計	30,224,447	62,257,085

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	628,323	701,133
短期借入金	417,668	3,969,000
1年内返済予定の長期借入金	740,210	601,105
未払法人税等	204,779	592,636
前受金	4,984,218	5,628,605
賞与引当金	451,171	500,877
役員賞与引当金	4,500	—
その他	3,167,494	8,931,995
流動負債合計	10,598,366	20,925,354
固定負債		
長期借入金	3,617,408	6,646,052
リース債務	5,935,858	5,956,715
資産除去債務	683,136	684,338
株式給付引当金	59,329	75,550
その他	9,139	7,616
固定負債合計	10,304,872	13,370,273
負債合計	20,903,238	34,295,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,256,921	11,283,167
資本剰余金	1,478,896	10,577,023
利益剰余金	6,372,974	6,950,300
自己株式	△1,119,643	△1,107,704
株主資本合計	8,989,147	27,702,787
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,781	66,618
為替換算調整勘定	11,890	9,941
繰延ヘッジ損益	183	△2,182
その他の包括利益累計額合計	145,855	74,376
非支配株主持分	186,206	184,293
純資産合計	9,321,209	27,961,457
負債純資産合計	30,224,447	62,257,085

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	10,343,168	13,271,670
売上原価	7,703,923	8,922,447
売上総利益	2,639,245	4,349,223
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	1,258	1,316
給料及び手当	695,959	918,054
賞与引当金繰入額	155,495	181,937
その他	1,537,039	1,952,027
販売費及び一般管理費合計	2,389,752	3,053,335
営業利益	249,492	1,295,887
営業外収益		
受取利息	20	1,767
貸倒引当金戻入額	454	396
補助金収入	6,943	45,358
その他	32,234	28,401
営業外収益合計	39,653	75,923
営業外費用		
株式交付費	1,459	109,528
支払利息	84,163	113,459
持分法による投資損失	6,292	12,414
その他	24,550	34,300
営業外費用合計	116,465	269,703
経常利益	172,680	1,102,108
特別利益		
固定資産売却益	—	34
投資有価証券売却益	61,318	—
国庫補助金等収入	—	3,709,381
特別利益合計	61,318	3,709,415
特別損失		
固定資産除却損	1,334	128
投資有価証券評価損	—	29,999
リース解約損	114	—
固定資産圧縮損	—	3,709,381
特別損失合計	1,449	3,739,509
税金等調整前中間純利益	232,548	1,072,013
法人税、住民税及び事業税	130,872	494,726
法人税等調整額	△49,372	△130,872
法人税等合計	81,500	363,854
中間純利益	151,047	708,158
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△24,091	△1,912
親会社株主に帰属する中間純利益	175,138	710,071

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	151,047	708,158
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	174,760	△63,812
繰延ヘッジ損益	214	△2,366
為替換算調整勘定	4,348	△1,948
持分法適用会社に対する持分相当額	6,255	△3,350
その他の包括利益合計	185,579	△71,478
中間包括利益	336,627	636,680
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	360,718	638,593
非支配株主に係る中間包括利益	△24,091	△1,912

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社は、2024年6月5日開催の取締役会決議に基づき、公募による新株発行(一般公募)を行いました。2024年6月21日を払込期日とする公募による4,270,000株の新株発行により、資本金及び資本剰余金が9,026,246千円ずつ増加しております。

この結果、当中間連結会計期間末において資本金が11,283,167千円、資本剰余金が10,577,023千円となっております。

(重要な連結範囲の変更)

従来、非連結子会社であった株式会社Tellusに対し、2024年4月1日付で増資払込を行ったことに伴い、重要性が増したため、当中間連結会計期間より、同社を連結範囲に含めております。